



Shin-ei



えにし 縁だより

畳の歴史



春の日差しがきらめく頃となりました。今月は工務部の内場智仁が畳の歴史についてお話しします。和室に何気なく敷いてある畳は実は日本古来のもので、その歴史は奈良時代に遡り、古事記には「畳」の記述が登場します。最古の畳は東大寺の正倉院にある聖武天皇が使用した「御床畳」でベッドとして使われた物です。平安時代の寝殿造では、座具などとして畳が敷かれるようになりました。貴族の位によって畳の厚さや縁についての規制があり権力の象徴だったようです。鎌倉時代の書院造りでは部屋全体に畳が敷かれるようになり、室町時代には茶室の様式へと発展していきました。一般に普及し始めるのは江戸時代中期以降になります。現在では洋風のフローリングのみの家が増えましたが、[落ち着く場所がない][部屋が寒い][音が響く]等の理由から和室が見直されるようになり、薄畳を敷いたり、和紙表・樹脂畳・縁なし畳等のスタイリッシュな畳も登場しています。先人たちの知恵と努力による畳はこれからも一つ一つ足で踏まれながら良い畳へと成長していくでしょう。私たち工務も畳と同じように皆様のお役に立てるよう成長してまいります。



自由設計
Scene - A

2025

4 月

株式会社シンエイ・シンエイリフォーム
兵庫県西宮市小曾根町4丁目5番16号
TEL 0798-47-1661 FAX 0798-48-0354
info@scene-a.com